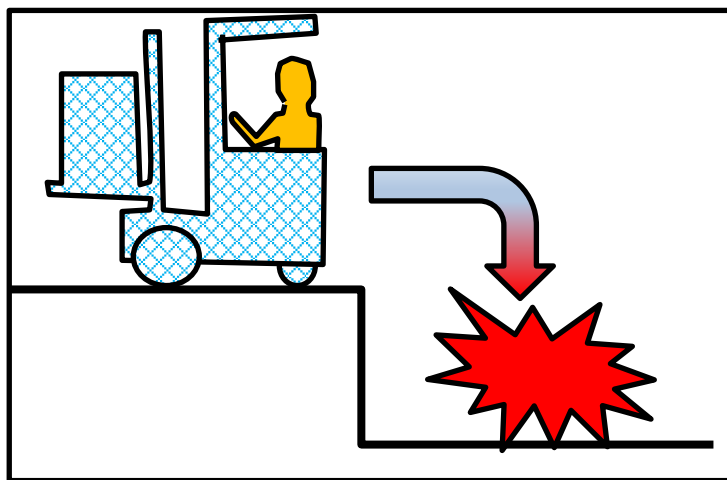


物流センターや倉庫内での

死亡災害が増えています！

神奈川労働局管内での、物流センターや倉庫内の出入庫作業を担う陸上貨物取扱業における労働災害は、休業4日以上死傷者数全国ワースト1位が毎年続いています。さらに令和4年は死亡災害も増加して、死亡者数全国ワースト1位にもなりました。作業の発注企業と受注企業においては、死亡災害事例を参考に安全管理の連携を強化していただき、死亡災害防止を徹底されますようお願いいたします。

死亡災害 事例 1 (イメージ図)

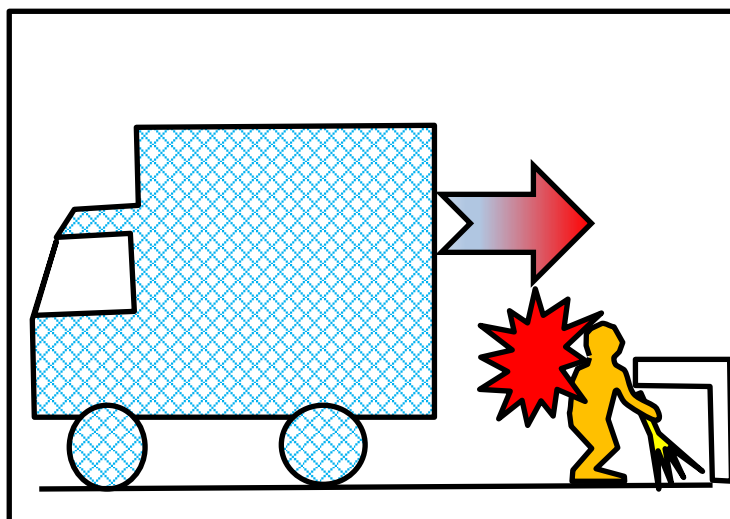


にそろ
荷揃えのためリーチフォー
クリフトに荷を積んでバック
ちゆう
中、プラットフォームから落
ち、運転者が車体の下敷き
になった。

災害を繰り返さないために、発注企業と受注企業で行うべきこと

- ◎ 発注企業の都合で安全標識やプラットフォーム際の停止表示テープの撤去等を行って作業場所の環境を変更した場合は、発注企業から受注企業へ、変更内容を作業前に伝えましょう。
- ◎ 受注企業が作業場所の環境の変更を知ったときは、安全に作業するため必要な事項を、作業前に知らせましょう。

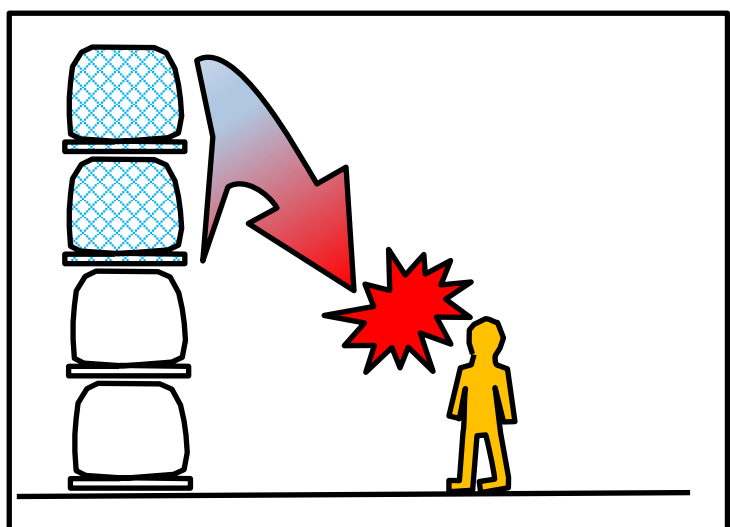
死亡災害 事例 2 (イメージ図)



プラットフォームの下を^{した} 箒^{ほうき}で
清掃^{せいそうちゆう}中の^{さぎょうしゃ} 作業^に者が、荷卸^{おろ}
のためバックしてきたトラッ
クとプラットフォームとの^{あいだ} 間
にはさまれた。

- ◎ 発注企業から受注企業へ、トラックと接触する危険がなく、安全に作業ができる時間帯を伝えましょう。
- ◎ 受注企業は、「清掃中」立看板等を用意し、トラックと接触する危険がある場所では作業前に設置するよう作業者に伝えましょう。

死亡災害 事例 3 (イメージ図)



パレットに乗せたフレキシブ
ルコンテナバッグ(粉体^{ふんたい}1ト
ン入り)4段積みの^い 傾^{だんつ}きを
発見^{はっけん}した^{さぎょうしゃ} 作業^{かくにん}者が、確認の
ため^{ちか}近づ^{とき}いた時に3・4段目
が崩^{くず}れ、下敷^{したじ}きになった。

- ◎ 発注企業は、フレキシブルコンテナバッグが変形しやすいことを念頭に、用具(金属カゴに収納)等を受注企業と協議しましょう。
- ◎ 受注企業は、適切な崩壊防止措置を講じたうえで、異常発見時の安全な確認手順を定めて作業者に伝えましょう。

※ 陸上貨物運送事業における荷役作業の安全対策ガイドラインも厚生労働省ホームページをご覧ください。



ガイドライン
(発注企業用)



ガイドライン
(受注企業用)

※ お問い合わせ先 神奈川県労働局労働基準部安全課(045-211-7352)